

滋賀県大津の古刹 石山寺・三井寺



大本山
 石山寺

西国第13番札所
源氏物語 紫式部ゆかりの花の寺

今も昔も多くの信仰を集める日本有数の観音霊場

石山寺は、清流瀬田川のほとり、伽藍山（標高239m）の麓にあり、奈良時代から観音の聖地でありました。縁起によれば、石山寺は天平19年（747）、聖武天皇の勅願で良弁僧正が創建とされています。

現在、本堂に安置されている本尊如意輪観音（重文）は、日本唯一の勅封の秘仏と言われ、開扉は33年毎。安産、福德、縁結びなどに靈驗あらたかな仏さまとして信仰を集めています。



東大門（重要文化財）

紫式部の源氏物語をはじめ女流文学が花開いた舞台

平安時代には貴族達の間で石山詣が盛んになり、紫式部は当時参籠の祈に、『源氏物語』の着想を得たと言われています。他にも『枕草子』『蜻蛉日記』『更科日記』などの文学作品に登場するなど、石山寺は平安王朝文学の開花の舞台となりました。また文学の寺として絵巻・聖教・典籍など数多くの歴史的な寺宝を有します。



参道と東大門（重要文化財）



本堂（国宝）



参道



紫式部像



総本山
 三井寺

西国第14番札所
近江大津京ゆかりの古刹

湖国近江の名勝、琵琶湖を見下ろす近江の古刹

天台寺門宗の総本山。境内に天智・天武・持統の三天皇の御産湯に用いられたとされる霊泉（井戸）があることから、「御井（みい）の寺」と称され、後に「三井寺」と通称されるようになりました。

国宝の金堂を始め、西国第十四番札所の観音堂、釈迦堂、唐院など多くの堂舎が建ち並び、国宝・重要文化財は100余点を数えます。



金堂（国宝）

苦難を乗り越えてきた不死鳥の寺

三井寺は、7世紀に天智天皇ゆかりの寺として創建され、その後、第5代天台座主・智証大師円珍（814～891年）によって発展の基礎が築かれ、日本を代表する「本朝四箇大寺」に数えられる大寺院となります。長い歴史のなかで度々戦禍を蒙りますが、その都度、復興したことから「不死鳥の寺」とも呼ばれています。



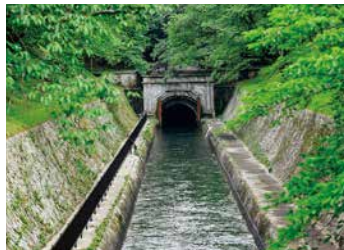
観音堂の観月舞台



唐院探題灯籠



一切経蔵（重要文化財）



琵琶湖疏水

お問い合わせ・アクセス



期間中、各寺入山料が100円引きとなる共通入山券を販売しております。各寺志納所でお買い求めいただけます。

◇あお若葉の競演 石山寺・三井寺 共通入山券 1,000円（通常価格 1,200円）

石山寺

- 所在地 〒520-0861 滋賀県大津市石山寺1-1-1
- 時間 午前8時～午後4時30分（最終入山午後4時）
- 電話 077-537-0013（石山寺）／077-537-1105（石山観光協会）
- 入山料 大人 600円（個人）／500円（団体）
- （団体＝30名以上） 中高生 600円（個人）／350円（団体）
- 小学生 250円（個人）／200円（団体）

◇ホームページ

石山寺

検索

<https://www.ishiyamadera.or.jp/>

三井寺

- 所在地 〒520-0035 滋賀県大津市園城寺町246
- 時間 午前8時～午後5時（最終入山午後4時）
- 電話 077-522-2238
- 入山料 大人 600円（個人）／550円（団体）
- （団体＝30名以上） 中高生 300円（個人）／250円（団体）
- 小学生 200円（個人）／150円（団体）

◇ホームページ

三井寺

検索

<http://www.shiga-miidera.or.jp/>





あお若

もみじ

葉の競演

2019年 4/20 ~ 5/19

＜石山寺 特別公開＞
（前）如意輪観音坐像
（中）大日如来坐像
（後）阿弥陀如来坐像

＜三井寺 特別公開＞
（前）普賢菩薩坐像
（中）文殊菩薩坐像
（後）大日如来坐像

三井寺

国宝金堂内陣 特別拝観
 大日如来坐像
 文殊菩薩坐像
 普賢菩薩坐像
 三尊すべて初公開

比良比叡の連山に連なる長等山の
中腹に広がる境内は、北院(新羅明
神)、中院(弥勒仏)、南院(三尾明
神)の三院から成っています。

このたび国宝・金堂の内陣に安置されている弥勒仏を中心に北院と南院の本地堂にまつられている本地仏の文殊菩薩像と普賢菩薩像、あわせて勸学院の本尊・大日如来像を遷座し拝していただきます。

大日如来坐像
国宝・勸学院客殿で知られる山内僧房・勸学院の本尊。

伝統的な天台系密教仏堂の様式を伝える桃山時代を代表する名建築(国宝)。

記念御朱印
期間限定の新羅明神の御朱印
を用意いたします。

あお若葉の息吹に、癒やしを感じる
もみじ

初夏の六尊 特別公開

4/20(土)
～5/19(日)

鮮やかな新緑の中、
期間限定の特別展示と
各種おもてなしを
ご用意し皆様を
お出迎えします。

鎌倉時代に存在したとされる「光堂」の再現として、平成21年(2009)建立された懸造の堂宇。

多宝塔の本尊である金剛界大日如来の御朱印を本堂にて授与いたします。

旧多宝塔の本尊と伝わる、重量感のある金剛界大日如来坐像。

本堂の旧御前立像。淀殿の寄進により、慶長年間(1596~1615)に造像された。

石山寺

平安貴族の信仰を集めた
観音信仰の寺。
鮮やかな新緑と咲き誇る花々を
お楽しみください。

光堂(特別公開)での
阿弥陀如来坐像
大日如来坐像
如意輪観音半跏像
特別公開

光堂を特別公開し、光堂本尊の阿弥陀如来坐像(鎌倉時代)や、旧多宝塔の本尊と伝わる大日如来坐像(平安時代・重文)、淀殿の寄進による如意輪観音半跏像(桃山時代)が、この期間限定で拝観できます。

光堂へ続く参道ではあお若葉のほか、
つつじ、藤、牡丹などの花々も鮮やかに
咲き、訪れる人を楽しませてくれます。

光堂の本尊として安置される。鎌倉時代の作。来迎印を結び、人々を極楽浄土に迎える姿をとる。

春季『石山寺と紫式部展』『観音験(しるし)を見る寺』
 <3月18日(月)～6月30日(日)>

紫式部が参籠し『源氏物語』の構想を練ったという伝承が残る石山寺では、春と秋に石山寺の歴史や文化、ゆかりの紫式部と『源氏物語』にちなんだ展示を行っています。今回の展示では『石山寺縁起絵巻』に描かれた観音靈驗譚や王朝貴顕の石山詣、さらに『王朝文化』の象徴としての『源氏物語』の流通を示す、『源氏物語』を描いた屏風や画帖、工芸作品などを紹介します。

『漫画家による仏の世界』展
 <3月29日(金)~5月19日(日)>

有名漫画家の作品70点を展示する、東日本大震災支援のプロジェクトです。漫画家さんの描いた仏様は、個性あふれるユニークなものばかりで、日本漫画がもつ力と遊びごころをお楽しみいただけます。

©赤塚不二夫

©いがらしゆみこ

©永野のりこ

©植田まさし

- 開催日：4月28日(日) / 5月12日(日)
- 時間：10時30分～14時30分
- 場所：宝寿院 ●料金：700円

●開催日：5月2日(木祝)9日(木)16日(木)
●時間：12時～ ●最小人数：6名
●場所：本寿院 ●料金：3,500円

5月18日(土)
5月19日(日)

三井寺・護法善神堂の本尊である鬼子母神の祭礼で、鬼子母神の千人の子供を供養することから「千団子祭」と呼ばれる。子供の名前を書いて池に放生し

専門ガイドによる仏像めぐり～
正しく理解する仏様のかたち～

- 開催日：4月29日(月祝)・5月12日(日)
- 時間：10時10分～13時～(約90分)
- 料金：2,000円(入山料・内陣拝観料・光堂特別拝観料・ガイド料含む)
- お申込み・お問合せ：(一社)石山観光協会 TEL 077-537-1105

※普段は非公開の多宝塔の柱絵も外からご覧いただけます

- 開催日：4月28日(日) / 5月3日(金祝)4日(土) 5日(日)
- 時間：10時30分～/13時30分～(約90分)
- 料金：2,000円(入山料・金堂拝観料・観音堂拝観料・ガイド料含む)
- お申込み・お問合せ：三井寺 TEL 077-522-2238

石山寺・三井寺とも長い歴史の中で守ってきた仏さまたち。そんな仏さまを実際に見ながら、仏さまのお姿に込められた意味から、その歴史や魅力まで深く学ぶことができるガイドツアー。全く仏像などの知識がない方でも楽しめる入門編のツアーを開催いたします。ここで学んだ知識があれば、他のお寺へ参拝するときもより一層深く楽しめると思います。この機会にぜひ仏さまにお近づきになってください。

5月19日(日)

石山寺屈指の学僧であった
朗澄律師(ろうちょうりっし
1132～1209)の遺徳をしの
ぶお祭り。境内の杉の葉で

作られた高さ5mを超える青鬼の像が建てられた東大門や、地元の子供たちによる青鬼太鼓、降魔招福の団扇の配布など、石山寺の新緑が鮮やかな初夏を代表するお祭りです。

あお若葉の
おもてなし
メニュー

期間中、石山寺の門前の
のお店では「あお若葉の
競演」にちなんだメニュー、商品をご用意しています。お寺
の拝観のあとに、ぜひお立ち寄りください。各お店の詳細
はホームページで紹介しています。

要予約